

玉川地域 これまでの主な取り組み

玉川地域の街づくりの主な取り組みを示しています。アンケート回答の際に参考にしてください。

1 多摩川の堤防、谷沢川分水路の整備による豪雨・浸水対策が進められています。

多摩川の堤防 (令和6年度完成予定)
これまで堤防がなかった二子玉川地区で、堤防の整備が進められています。

第1期工事完了部分(兵庫橋付近)



国土交通省 関東地方整備局 京浜河川事務所 HP より

谷沢川分水路 (令和6年度完成予定)
谷沢川流域の浸水被害を防ぐため、環状8号線、玉川通り及び世田谷区道の地下に、延長約3.2kmのトンネル構造の分水路を構築しています。

2 二子玉川駅周辺は広域生活・文化拠点として、にぎわいと居住、自然環境の調和が図られた拠点として整備されています。

二子玉川東地区再開発
(平成28年12月事業完了)

再開発により商業・業務施設や共同住宅、道路、公園などが整備されました。



凡例	○ 鉄道・駅	● 広域生活・文化拠点	主として商業業務機能および文化情報発信機能が集積し、全区的な「核」であると同時に、本区を越えた広域的な交流の場
■ 都市計画公園(拡張整備事業中)	●●● 水辺や緑道等	○ 災害対策拠点(玉川総合支所)	地域の防災に関する機能を備える総合支所周辺の地区
■ 都市計画公園・緑地(開設)	●●● 古道	○ 地域生活拠点	区民の日常生活に必要な商業・行政サービス等が集積し、地域の「核」となる区民の身近な交流の場
■ 風致地区	●●● コミュニティバスルート		
■ 国分寺崖線	●●● 谷沢川分水路		
■ 1,000㎡以上の樹林地が敷地内にある寺社等			

3 「二子玉川公園」、「上用賀公園」、「玉川野毛町公園」など、特色ある公園の整備が進められています。



二子玉川公園
(平成25年4月開園)



上用賀公園
(平成28年3月開園、拡張整備事業中)



玉川野毛町公園
(昭和31年7月開園、拡張整備事業中)

4 新たなコミュニティバス路線【等13】の運行が開始されました。

南北交通を強化し、鉄道間における乗継利便性を向上させるため、【等01】玉堤環状路線に引き続き、平成29年から【等13】等々力・梅ヶ丘路線の運行が開始されました。

5 災害対策拠点である玉川総合支所庁舎の建替えが完了しました。目黒通り、等々力大橋の整備により一層の拠点機能の強化を進めています。

玉川総合支所の建替え

(令和3年1月リニューアル)
災害対策機能やユニバーサルデザインに対応した新庁舎にリニューアルオープンしました。



目黒通りの延伸と等々力大橋(仮称)の整備

(等々力大橋:令和12年度完成予定)
世田谷区と川崎市をつなぎ、都市間の連携を強化し、広域物流ネットワークの形成、交通の円滑化や緊急輸送道路としての防災性の向上が期待されています。

6 国分寺崖線周辺では、風致地区等によって、自然景観の維持・保全が図られています。

国分寺崖線の「崖の連なり」は、全長約30kmに渡っており、区内では多摩川と野川に沿って約8km続き、高さ10~20mの斜面地です。周辺に残る樹林や湧水などの自然環境は、まとまった緑が多く残る世田谷区の「みどりの生命線」と言われる貴重なものになっています。

崖線とその周辺地域は「風致地区」に指定されており、良好な自然的景観の維持を図る地域として、建ぺい率と高さの最高限度や建物の外壁から敷地境界までの距離の制限等が定められています。

